



「令和 9 年度当初予算の編成について」 ポイント

■ 令和 9 年度「当初予算編成」の基本方針

- 県民対話集会「#あおばな」などで寄せられた県民の声を最大限生かし、**青森新時代を「挑戦」の次のステージへ**
- 令和 9 年度当初予算編成に当たっては、取組の重点化の基本方針を踏まえながら

地域と共に作る青森の成長

を目指し、以下の 3 点を重視

- G X 分野をはじめとする**大規模な投資**を呼び込み、**産業クラスターの形成を促進**
- 青森の新たな顔となる**地域と連携した拠点づくり**
- 青森の未来につなげる**新機軸の施策の構築**
- こうした重要施策へ大胆に政策資源を集中するため、**事業の見直し・廃止を徹底**
- その上で、**物価や労務単価の上昇に適切に対応しつつ、持続可能な財政運営を継続**

■ 令和 9 年度見積目安額の設定①

(1) 部局政策経費

- 裁量的経費については、**事業の見直し・廃止を促進する観点**から、積極的な経費の見直し等が行われたと認められる場合に**事業見直し効果額を上乗せ**
- また、庁舎・インフラ等の維持管理経費や基幹的情報システムの運用経費については、**物価や労務単価の上昇に対応**した見積目安額を設定

【見積目安額】

裁量的経費

前年度当初予算額 + **事業見直し効果額**

庁舎・インフラ等維持管理経費

所要の見積目安額

基幹的情報システム運用経費

所要の見積目安額

(2) A X（青森大変革）対応経費

A Xの基本理念に基づく青森大変革に資する**新機軸の政策展開**に必要な取組については、継続事業を含め**予算編成過程で対応**（要求に当たっては部局政策経費の見直しの徹底が前提）

■ 令和 9 年度見積目安額の設定②

(3) 公共事業関係費

国の予算編成の状況を踏まえ、所要経費について**予算編成過程で対応**
なお、見積目安額については、地方負担（県債＋一般財源）ベースで前年度同額で仮置き

(4) 施設等整備費

公共施設等の老朽化対策や大規模施設整備を着実に推進していくため、公共施設等適正管理推進事業債等の各種財源を積極的に活用しつつ、**所要の見積目安額を設定**

(5) 緊急課題・行財政改革対応経費

緊急的な課題や県庁DXをはじめとする行財政改革に対応するための経費について、デジタル活用推進事業債等の各種財源を積極的に活用しつつ、**所要の見積目安額を設定**

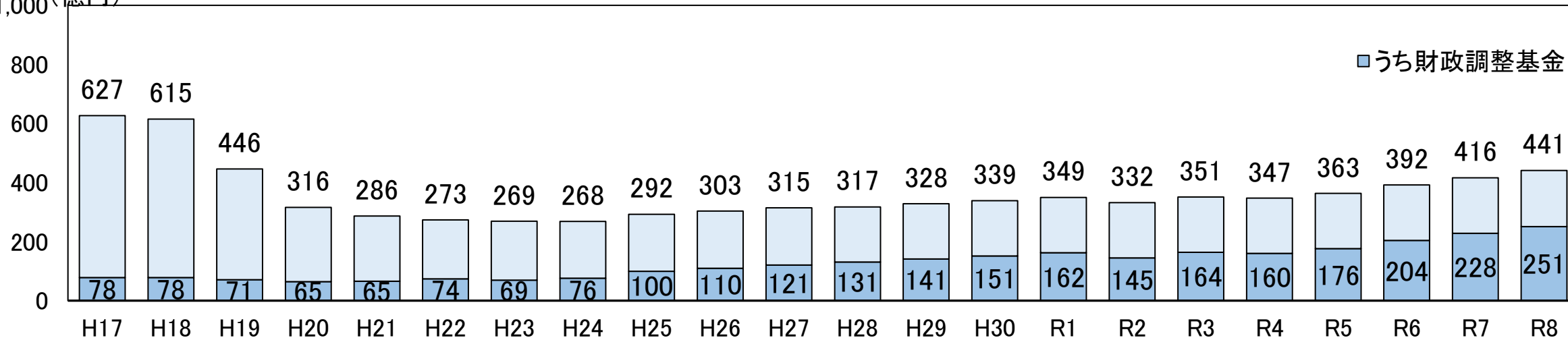
予算要求見積期限 令和8年11月13日（金）

(参考) 財政調整用基金及び県債残高の状況

① 財政調整用基金残高の推移

(億円)

※R7までは決算額、R8は9月補正後見込み



② 県債残高の推移

(億円)

※R7までは決算額、R8は9月補正後見込み

